

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)11月10日 事 務 局：460-0008
 名 長：泉 憲一 名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
 幹 事：亀井 直人 TEL：052-211-3803
 広報委員：山口 哲司 FAX：052-211-2623
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30～ MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 会 場：ヒルトン名古屋 URL：http://www.mizuho-rc.jp/



第1624回例会

2013年11月21日(木) 晴 第20回

～R財団月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

司 会：田中宏会場委員
 齊 唱：「それでこそロータリー」
 ゲ ス ト：小牧RC 地区R財団委員会委員長 鈴木文勝さん
 ビ ジ タ ー：大牟田北RC 八塚宏太さん

会長挨拶

泉憲一会長

みなさん、こんにちは。今日は、ヴォジョレ・ヌーボー解禁日です。ワイン好きの方には、待ちにまった日だと思います。今夜行われます「ヴォジョレ・ヌーボーを楽しむ会」に私も出席しますので、会に先立ちまして、ワインの効能ということでお話しをさせていただきます。



皆さんは「フレンチ・パラドックス」という言葉を聞かれたことはありますか？直訳すると「フランス人の逆説」という意味です。パラドックスとはギリシャ語で、「一見間違っていそうだが正しい説」という意味で、矛盾、逆説、ジレンマという意味があります。どういうことかと言いますと、バターや卵、肉料理などをたくさん取るフランス人は、先進諸国の中でも脂肪の消費量が多いにもかかわらず、冠動脈疾患の死亡率は他国に比べてむしろ低いということです。一流学術誌に掲載された論文が、この背景として「フランスでは赤ワインの消費量がずば抜けて高い」ことを指摘していることから、赤ワインは世界中の注目を集めることになったのです。その後、フランスで中年男性3万4000人を15年間追跡し、アルコールの摂取状況と死亡率の関係を調べた調査では、一日2～5杯程度のワインを飲む人で、心臓病による死亡率が最も低いことが分かりました。一日1～3杯程度のワインを飲む人では、がんによる死亡率も低下したという結果も出ました。

こうしたワインの健康効果は、ワインの中でも特に赤ワインに多量に含まれる「ポリフェノール」の抗酸化作用によることも、今ではよく知られている事実です。赤ワインの中には、フラボノイド、アントシアニン、カテキンをはじめ、シムプルフェノールやタンニンなど、さまざまなポリフェノールが含まれています。白ワインと違ってこんなにたくさんのポリフェノールが含まれているのはなぜかということ…それは、白ワインはブドウの果汁だけを仕込むのに対し、赤ワインは皮や種、茎の一部も一緒に発酵にかけ、その後は樽に詰めて長期間熟成させて、いろいろなポリフェノールを溶け出させるからなのです。ポリフェノールの量は意外にも種(たね)に最も多く、全体の65～70%を占めます。皮は25～35%、果肉には2～5%と少ないのです。このため、皮と種を使わない白ワインではポリフェノールの含有量は赤ワインの約10分の1しかなく、ロゼは半分くらいだと言われています。

ポリフェノールは抗酸化力が強く、動脈硬化の原因となる悪玉コレステロールの酸化を抑え、心臓病を防いでくれることでも有名です。また、がんや老化の原因になる「酸化反応」は体の中で常に起きていますが、毎日ワインを飲めば、それを防ぐこともできます。ワイン

のポリフェノールが、脳内の過酸化物質を抑えるからだと考えられています。又、赤ワインには血流を良くし、血小板が固まるのを抑える働きがあります。

私を含め痛風でお悩みの方もみえると思いますが、2004年に米国ハーバード大学が、飲んでいるお酒の種類や量と、痛風の発症率の関係を約5万人の男性に12年間追跡した結果、1日2杯以上ビールを飲む人やウイスキーなどの蒸留酒を飲む人では、お酒を飲まない人に比べて、ビールでは2.5倍、ウイスキーでは1.6倍も痛風になりやすかったという結果が出、その反面、ワインを1日2杯まで飲む人では、痛風になるリスクがむしろ抑えられたという結果報告がでています。さらに、ビールや蒸留酒を毎日飲む習慣のある人は、飲酒しない人に比べて約1.5倍アルツハイマー病になりやすくなるという調査結果もでています。しかし、同じ量でもワインを飲む習慣のある人は、飲酒しない人に比べて、なりやすさが半減するとの調査結果も、米国の研究グループから報告されています。

つまり、成人病対策として、毎日お肉の料理を食べる機会が多い方や、健康で病気になりにくい体質になりたい方は、ぜひ赤ワインを日常的に召し上がることをおすすめします。

幹事報告

亀井直人幹事

- ・本日13:40より9階「ことぶきの間」にて第3回クラブアッセンブリー・第5回理事会が開催されます。
- ・本日18:00より栄の「トラットリアカプリオーレ」においてヴォジョレ・ヌーボーを楽しむ会が開催されます。
- ・11月23日(土)、24日(日)ウェスティンナゴヤキャッスルにおいて地区大会が開催されます。名札とプログラムをご持参ください。2日目に近藤ガバナーエレクトが登場されますのでそのときは盛大な拍手でお迎えしたいと思います。なお、11月28日(木)は振替により休会です。

出席報告

酒井俊光出席委員

会員63名 出席43名 (出席計算人数45名)

出席率 86.0% 11月14日は補填により 84.6%

ニコボックス

酒井俊光ニコボックス委員

・本日は、ロータリー財団の卓話をさせていただきます。宜しく申し上げます。

地区ロータリー財団委員会委員長 鈴木 文勝さん

・毎年恒例のチャリティー列車が今年も当ホテル1Fで走り始めました。当社も永年応援しております。 高村 博三さん

・11月5日は結婚記念日でした。 本多 清治さん

・11月3日は妻の誕生日でした。きれいな花をありがとうございました。花がもらえるのはロータリーだけです。 亀井 直人さん

・楽しい旅行に行ってきましたがケータイをなくしました。過去が消えました。 内田 久利さん

・ロータリー財団委員長 鈴木文勝さん、卓話よろしくお願ひします。 **鈴木 淑久さん**

・近藤茂弘さん、先日はお世話になりました。ありがとうございます。 **湯澤 勇生さん**

・孫娘が内科医の資格試験に合格しました。 **鈴木 圓三さん**

・近藤茂弘さん、先日は食事会に楽しく参加させて頂きありがとうございます。御座います。 **酒井 俊光さん**

卓話 地区ロータリー財団委員会委員長 鈴木文勝さん

ロータリー財団未来の夢計画について

2017年にロータリー財団は創立100周年を迎えます。その100周年に向けロータリー財団が今どのようなことを考えているのか、どのようなビジョンを持っているのかをお話したいと思います。何かとロータリー財団は寄付を求めますがこれもその思いを実現するためです。財団委員長の立場として皆様にも少しご理解頂きたいと思っております。



今年の二月にポリオ投与のため第2760地区のポリオプラス委員会、それに賛同して参加していただいた一般のロータリアン、ローターアクトのメンバーとインドへ行って参りました。インドはもう三年ほど前にポリオが撲滅しておりそれ以降発症していません。これも長い間ポリオ撲滅のために一生懸命活動してきた成果であると思います。現在ポリオの常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの三国と言われておりますがそこでも昨年に比べて減少しております。ただこの三国以外でポリオが増えているということで、ポリオの撲滅には今後更にエネルギーをかけていかなければならないと思います。ぜひ皆様これからもご協力ください。現地に行くだけでなく、資金的な協力や一般の方へのPRも支援となります。

ロータリー財団は「世界的に認められる財団になる」「世界の人道的ニーズに応えるリーダーになる」「戦略的パートナーシップの強化」に力を入れており、この三つは密接に関連しております。ロータリー財団あるいは国際ロータリーは公共イメージの向上に力を入れております。まずは経営基盤を強固にし、その基盤に裏打ちされた国際的な奉仕事業をしっかりと行います。それによって広く多くの皆様にロータリーの存在意義を認めてもらいまた世界の皆さんに支援や寄付の協力をしていただき、同じ奉仕の精神をもって頑張るパートナーシップの協力団体を見つけ一緒に支援事業を行うことがこれから必要となってくると思います。

■「世界的に認められる財団になる」

AMAのマーケティング協会のエジソン賞を取得したことやチャリティー・ナビゲーターから四つ星の最高評価を六年連続いただいたことなどの財団のニュースが我々のところに届きます。このようなことも一般に広く財団の良いイメージをもってもらうために必要です。

■「世界の人道的ニーズに応えるリーダーになる」

世界的な慈善団体としての精神的なリーダーを目指すことによって世界に影響力を持つということです。今回の未来の夢計画もプログラムの全面的な見直しをされました。世界的なニーズの調査をし、重点を六つに分けて活動することになりました。「水と衛生」「疾病予防と治療」「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「経済と地域社会の発展」「平和と紛争予防・紛争解決」です。

■「戦略的パートナーシップの強化」

ロータリー財団の推進する補助金事業というのは未来の夢計画によって見直しをされました。ポリオ・プラス事業、地区補助金事業、グローバル補助金事業、平和フェローシップ事業、パッケージング事業の五つに分けられます。ポリオ・プラス事業については先ほど申し上げました。地区補助金は各クラブの皆さんがそれぞれの地域で奉仕事業をする際に使われます。必ずしも地域だけではなくそれを

使って海外での支援も可能です。グローバル補助金は海外への支援ということで使い道は先ほどの重点六分野にしばられます。また平和フェローシップ事業は平和と紛争予防・紛争解決の対象となる奨学生などの事業です。そしてパッケージング事業は戦略的協力組織と提携し大きなプロジェクトをする際に使われるものです。例えば第2760地区で医療チームを作る事もできるし、名古屋瑞穂RCがチームを作って一般の医者を集めて医療活動をする事もできます。

個人からの寄付の認証には「ロータリー財団友の会会員」「ベネファクター」「ポール・ハリス・フェロー」「ポール・ハリス・ソサエティ」「遺贈友の会会員」「メジャードナー」「遺贈友の会会員」があります。おなじみなのはベネファクターで、これは恒久基金に1,000ドル以上現金で寄付された方。またポール・ハリス・フェローは年次基金、ポリオ・プラス、承認された財団補助金のいずれかに1,000ドル以上寄付された方。ポール・ハリス・ソサエティは今年度正式な認証プログラムとなりました。毎年1,000ドル以上の寄付を約束された方です。そしてもう一つロータリーのクレジットカードプログラムです。これも一つの寄付の方法です。カード利用金額の0.3%（ビジネスカードは0.5%）が財団に自動的に寄付されます。あるいはゴールド会員の場合は年会費10,500円うちの3,000円が寄付されるということでこういう寄付の方法もあるということをご認識ください。今年度からはビジネスカードでもできました。仕事でも使っていたらとありがたいです。

「毎年あなたも百ドル」という標語をご存知でしょうか。今年からEVERY ROTARIAN EVERY YEARという標語に世界統一されました。年次寄付の努力目標は一人当たり15,000円です。名古屋瑞穂RCさんは会員数64名中ベネファクター27名、ポール・ハリス累計142名、ゴールド2名、シルバー2名ご加入いただいております。シルバーカードをお持ちの方は一年間使用しないと失効してしまいますのでご注意ください。また年次寄付ですが9,310ドルというのが昨年の実績です。恒久基金を含め寄付総額11,310ドルいただいております。本当にありがとうございます。

また簡素化された補助金制度と運用ということで、未来の夢計画の補助金システムの特徴的なところはここにあり、シェアシステムといえます。三年前の田嶋ガバナー年度の年次寄付と恒久基金の利息がDDFとWFとして戻って参りましてそのDDFのうちの50%を地区補助金として各クラブが地域の奉仕活動に使って見えます。これはほぼ100%に近い形で使われております。グローバル補助金は使い方が難しいため残ってしまうケースが多いのですが今年度から各クラブがグローバル補助金を使った奉仕プロジェクトを盛んに行うようになりました。補助金の申請期間は今月から始まっております。来年二月までに来年度の補助金を使ったプロジェクトを計画されるようであれば期間内に申請していただきたいと思っております。グローバル補助金に関しては期間はありませんので随時そのようなプロジェクトを計画される場合はその前に財団委員会か補助金委員会にご相談いただきたいと思います。

ロータリー財団の使命はロータリアンの人々の健康状態の改善し教育への支援を高め貧困を救済することを通じて世界平和、親善、平和を達成できるようにすることです。これを使命として我々も皆様のお手伝いをしております。皆様のご寄付を使つての財団、ご寄付あつての財団ですのでぜひともご協力ご理解いただき、より名古屋瑞穂RCさんが磨かれ輝かれることを、そしてまた近藤ガバナー年度が成功されますよう私も協力させていただきたいと思っております。

例会のご案内

■次週の行事 11月23日(土)・24日(日) 地区大会
場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル

■11月28日(木) 振替により休会

■次々週行事 12月5日(木) クリスマス家族会
場 所：ヒルトン名古屋4階「竹の間」